

令和7年度第2回山元委託販売打合せ会議に出席しました

令和7年11月27日（木）、青森県森林組合連合会主催で開催された「令和7年度第2回国有林野産物の山元委託販売打合せ会議」に出席しました。

当日は打合せ会議と有利採材検討の2部構成で行われ、まず青森県森林組合津軽木材流通センター入札会場において打合せ会議が行われました。

冒頭、青森県森林組合連合会の黒滝代表理事専務から挨拶があり、続いて同会の担当者から今年度10月までの木材市況動向や、県産優良材即売会の販売結果等について説明していただきました。次に、各森林管理署等の担当者から山元委託販売の進捗状況や今後の生産計画等について説明があり、青森事務所からは今年度のシステム販売協定量や、県別委託販売平均単価等について情報提供させていただき、その後意見交換となりました。

樹種毎の販売状況や、今後の需給動向等について最新の情報共有を図ることができ、有意義な意見交換を行うことができました。

後半は、同センターで前日開催された「第40回県産優良材展示即売会」の販売結果をもとに、土場に並んだ針葉樹・広葉樹丸太を見ながら有利採材について検討（勉強会）を行いました。青森県森林組合連合会の秋田常務理事から、例年と今年の価格差や樹種毎の用途について解説していただくとともに、引き合いの強いナラ・クリや高値で販売されるようになってきたブナ等の欠点や材の良し悪しを評価するポイント、最近の需要状況についても説明していただきました。今後の需要動向を踏まえた木材供給に当たり、有利採材・有利販売に向けての理解を一層深めることができました。

青森事務所では、今後も各種会議等への参画を通じて最新の情報を収集し、国有林材の安定供給や資源の有効活用に貢献していきたいと考えています。



打合せ会議の様子



有利採材の検討（勉強会）